



# 栃木県立足利工業高等学校

全  
日  
制



所在地 〒326-0817 足利市西宮町2908-1  
 電話 0284-21-1318  
 F A X 0284-21-9313  
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikagakogyo/nc2/>  
 創立 明治28年  
 課程 全日制課程  
 設置学科 機械科、電気システム科(電気コース・電子機械コース)  
 産業デザイン科  
 生徒数 510名(男子409名 女子101名)(令和3年5月1日現在)  
 利用交通機関 JR足利駅、東武足利市駅から約2km(徒歩23分)

## I 学校の概要

### 1 学校教育目標

「人間性豊かな工業人の育成」

### 2 目指す学校像

- 工業技術者として、将来、地域に貢献できる生徒を育成する学校
- 意欲的に学習活動に取り組み、自己実現のために努力する生徒を育成する学校
- 人権感覚に優れ、豊かな人間性と規範意識を備えた生徒を育成する学校

### 3 募集する生徒像

本校への入学を強く希望しており、本校の学校教育目標と目指す学校像を理解し、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する生徒

- (1) 工業に関心があり、「ものづくり」が好きな生徒
- (2) 部活動や地域との交流活動等に積極的に取り組む生徒

### 4 学校の特徴

#### (1) 沿革

本校は、明治28年に「栃木県工業学校」として創立しており、前身である「足利織物講習所」を含めると日本で最も歴史のある工業高校です。本校同窓会の「栃工会」は、「栃木県工業学校」が名前の由来となっています。平成27年に創立120周年を迎えた伝統校です。

#### (2) 特色ある教育活動(「キャリア教育」)

本校は工業の専門高校として、地域産業を担う技術者の育成を目指し、「キャリア教育」に力を入れています。平成26年には『キャリア教育優良学校』として文部科学大臣表彰を受けました。さまざまな資格を取得するための補習はもちろん、インターンシップ推進事業や工場見学、進路講演会、先輩に聞く会などを通して「キャリア教育」を積極的に推進しています。また、就職希望者が約7割ですが、4年制大学進学を目指した進学補講なども放課後等を実施し、就職も進学もできる学校を目指しています。

特に、本校独自の特徴的な教育活動は次のとおりです。

- ①「5S運動」：足利市が推進する5S運動を学校として取り入れ、教育活動に生かしています。
- ②「職場実習」：3年生の希望者が週に1日(1学期に約10日間)企業に出向き、専門技術を習得します。
- ③「高大連携事業」：3年生の希望者が週に1日(1学期に約10日間)大学に出向き、研究を行います。
- ④「国際交流活動」：姉妹校のドイツ カールゼヴェリンク実業高等専門学校との交流を深めています。



## II 学習内容、学科の特色

### 1 学習内容について

本校では授業の約4割が工業の専門科目です。学科により異なりますが、1・2年生で週10時間程度、3年生では週13時間程度が専門科目の授業になります。専門科目には「ものづくり」の理論を教室で学ぶ科目と、実習棟で実際にものづくりを行ったり、材料の特性に関する実験や測定を行う「実習」や「製図」など実技を伴う科目とに大きく分けられます。実習は1・2年生で週3～4時間、3年生では週6時間程度あり、さまざまな機械や工具、測定器等を適切に取り扱う技術の習得と、ものづくりの楽しさや難しさを学ぶ重要な専門科目です。

また、3年生の「課題研究」では、自ら設定したテーマについて主体的に研究を進め、クラスごとの発表会では研究成果のプレゼンテーションを行います。テーマの中には、企業の技術者から直接指導を受けることのできる「職場実習」や足利大学の先生からアドバイスをいただきながら研究を行う「高大連携事業」などもあり、主体的な学びを通して課題発見・解決能力やコミュニケーション能力を培います。

### ◆入学を希望する中学生への期待

工業の専門科目を学ぶためには、中学校での基礎的な学習内容の修得が不可欠です。まず、毎日の授業を大切にして、教科書に書かれている内容を確実に理解できる十分な学力を身に付けて下さい。

また、工業高校での学習の中心は「ものづくり」です。頭と身体と心を駆使して「ものづくり」に意欲的に取り組む姿勢が重要です。そして、工業に関する知識や技術を習得し、将来は技術者として働き、社会に貢献していくというしっかりした目的意識を持つことが求められます。

したがって、「ものづくり」にあまり関心がないのに、単に家から近いなどの理由で入学を決めることのないよう、自分の興味や関心、適性等を十分見極めたうえで志望校を決定して下さい。

### 2 学科の特色について

#### (1) 機械科

機械に関する基礎的な知識や技術（設計、製図、工作機械の操作法、溶接や鋳造などの工作法、工業計測など）を身に付けた実践的エンジニアの育成を目指しています。

＜取得可能な主な資格＞ 2級・3級技能士（旋盤作業、機械検査）、危険物取扱者、二級ボイラー技士、機械製図検定等

＜専門性を活かした仕事の例＞ 機械部品の加工・組立、自動車整備士・メカニック、機械設計・開発職、機械製造技術職等

#### (2) 電気システム科（2年次よりコースに分かれて学習します）

電気コース…発電から送配電の電気エネルギーについて学習し、電気・電子技術のスペシャリストになることを目指します。

①発電、送配電、電気機器、電気応用、電子回路など、電気の基礎・基本を学習します。

②経済産業省の認定を受け、卒業後の実務経験により第三種電気主任技術者の国家資格が取得できます。

＜取得可能な資格＞ 技能士（電子機器組立）、第二種電気工事士、第一種電気工事士、危険物取扱者、工事担任者DD3種等

＜専門性を活かした仕事の例＞ 各種配線工事、電気設備の修理等  
電子機械コース…機械設計・加工技術からロボット等の制御技術等を学習し、生産技術分野のスペシャリストになることを目指します。

①機械、電気・電子及び情報に関する各分野の基礎を学び、メカトロニクス学習の基盤をつくります。

②産業界で必要とされる、制御プログラミング技術の基礎・基本を学習します。

＜取得可能な資格＞ 技能士（シーケンス）、第二種電気工事士、危険物取扱者、機械製図検定、二級ボイラー技士等

＜専門性を活かした仕事の例＞ ロボット制御、プログラミング、機械設計・製造等

#### (3) 産業デザイン科

デザインに関する知識や技術（デザイン技術、デザイン製図、コンピュータグラフィック）を学び、豊かな感性や発想力を備えた産業に関連するデザインのスペシャリストの育成を目指します。

＜取得可能な主な資格＞ カラーコーディネーター検定、トレース検定、3級技能士（テクニカルイラストレーション）等

＜専門性を活かした仕事の例＞ 開発デザイン、開発支援CADオペレーター、印刷オペレーティングスタッフ、企画提案営業職等



溶接実習



電気工事实習



シーケンス制御実習



デッサン実習

### Ⅲ 進路状況

#### 1 地域別就職者数と上級学校進学者の推移

令和2年度は約6割の生徒が就職を希望し、就職内定率は100%です。また、進学については、ほとんどの生徒が推薦入試やAO入試で進学しています。専門学校等については、工業関係の自動車整備やデザイン、情報の他に看護や福祉、調理など多種多様な分野の専門学校等に進学しています。

##### 【就職状況】

|        |      | 全 科 |   | 機械科 |   | 電気科 |   | 産業デザイン科 |   | 電子機械科 |   |
|--------|------|-----|---|-----|---|-----|---|---------|---|-------|---|
|        |      | 男   | 女 | 男   | 女 | 男   | 女 | 男       | 女 | 男     | 女 |
| 学校 幹 旋 | 栃木県内 | 51  | 7 | 27  | 1 | 16  |   |         | 5 | 8     | 1 |
|        | 県 外  | 47  | 2 | 26  |   | 12  |   |         | 1 | 9     | 1 |
| 自己就職   | 栃木県内 | 2   |   | 1   |   | 1   |   |         |   |       |   |
| 公 務 員  | 栃木県内 | 1   |   | 1   |   |     |   |         |   |       |   |
|        | 県 外  | 3   |   | 2   |   |     |   |         |   | 1     |   |
| 合 計    |      | 104 | 9 | 57  | 1 | 29  |   |         | 6 | 18    | 2 |
|        |      | 113 |   | 58  |   | 29  |   | 6       |   | 20    |   |

##### 【進学状況】

|          |  | 全 科 |    | 機械科 |   | 電気科 |   | 産業デザイン科 |    | 電子機械科 |   |
|----------|--|-----|----|-----|---|-----|---|---------|----|-------|---|
|          |  | 男   | 女  | 男   | 女 | 男   | 女 | 男       | 女  | 男     | 女 |
| 大 学      |  | 13  | 5  | 6   |   | 3   |   |         | 4  | 4     | 1 |
| 短期大学     |  | 1   | 4  |     |   |     |   | 1       | 4  |       |   |
| 専門学校等    |  | 28  | 20 | 13  | 1 | 3   |   | 1       | 19 | 11    |   |
| 産業技術大学校等 |  | 2   |    |     |   | 1   |   |         |    | 1     |   |
| 合 計      |  | 44  | 29 | 19  | 1 | 7   |   | 2       | 27 | 16    | 1 |
|          |  | 73  |    | 20  |   | 7   |   | 29      |    | 17    |   |

#### 2 主な進路

##### (1) 主な就職先

【県内】(株) I D X、アキレス (株)、(株) 足利技研、足利電装 (株)、アラマークユニフォームサービスジャパン (株)、関東ミナセル (株)、(株) ギャバン、協立機興 (株)、(株) キリウ、医療法人社団桑崎会、医療法人社団廣和会、(株) 小松製作所、佐藤金属工業 (株)、三和シャッター工業 (株)、シミックCMO (株)、(株) 進恵技研、新明和工業 (株)、住化積水フィルム (株)、住友大阪セメント (株)、(株) 大協精工、竹内産業 (株)、(株) タツミ、東京計器 (株)、東京食品産業 (株)、東邦建 (株)、同和工業 (株)、トモエ産業 (株)、日本プロテイン (株)、(株) ニフコ北関東、日本電産コパル電子 (株)、ハウス食品 (株)、バンドー化学 (株)、日立ジョンソンコントロールズ空調 (株)、(株) 深井製作所、富士フィルムテクノプロダクツ (株)、(株) マテックス、ミクロン電気 (株)、(株) U A C J 押出加工小山、吉澤石灰工業 (株)、(株) レンタルのニッケン、栃木県警察など

【県外】アサヒ飲料 (株)、味の素冷凍食品 (株)、(株) 加藤製作所、(株) 川上鉄工所、(株) 関電工、(財) 関東電気保安協会、グローリー (株)、(株) K E C、坂本工業 (株)、しげる工業 (株)、正田醤油 (株)、新和建設 (株)、SUBARUテクノ (株)、(株) SUBARU、(株) 関水金属、千代田工業 (株)、東亜工業 (株)、東京地下鉄 (株)、東武インターテック (株)、東洋水産 (株)、(株) 特電大泉製作所、日興リカ (株)、(株) 日東電機製作所、(株) 日本キャンパック、ニプロ医工 (株)、ネグロス電工 (株)、パナソニックAP空調・冷設機器 (株)、PHC (株)、藤倉化成 (株)、ブルドックソース (株)、マレリ (株)、(株) ミツバ、三菱電機 (株)、(株) 明電舎、ヤマザキビスケット (株)、(株) ユニテック・アルファ、自衛隊など

##### (2) 主な進学先

【私立大学】足利大、宇都宮共和大、関東学園大、桐生大、埼玉工業大、作新学院大、帝京大、帝京平成大、東京電機大、東北芸術工科大、日本工業大、文星芸術大、ものづくり大

【短期大学】大月市立大月短大、桐生大短大、佐野日本大短大、女子美術大短大

【専門学校】足利製菓、足利デザイン・ビューティ、育英メディカル、宇都宮ビジネス電子、宇都宮メディア・アーツ、大泉保育、太田医療技術、太田自動車、太田情報商科、太田動物、大原法律公務員、関東工業自動車、群馬自動車、群馬日建工科、埼玉コンピュータ&医療事務、国際テクニカルデザイン自動車 他

## Ⅳ 特別活動等の紹介

### 1 部活動

#### ○運動部（13部）

野球 ソフトテニス 卓球 サッカー バスケットボール レスリング バレーボール  
ハンドボール 陸上競技 剣道 ソフトボール 弓道 バドミントン

#### ○文化部（6部）

吹奏楽 茶華道 機械研究 電気研究 産業デザイン研究 電子機械研究

### 2 主な学校行事



足工祭



クラスマッチ（サッカー）



マラソン大会

## Ⅴ 特色選抜について

### 1 定員の割合

機械科 30%程度

電気システム科 30%程度

産業デザイン科 30%程度

### 2 出願するための資格要件

基本的な生活習慣と基礎学力が身に付いており、次の（１）又は（２）のいずれかに該当する者

（１）希望する学科の学習に強い興味・関心があり、本校入学後も意欲的に学習に取り組む者

（２）中学校時代にスポーツ、文化活動、生徒会活動などにおいて優れた能力または実績をもち、本校入学後は学習と両立させながらそれらの活動を継続し、活躍できる者

### 3 選抜の方法

| 選抜方法 | 内 容            |
|------|----------------|
| 面 接  | 個人面接 時間10分程度   |
| 作 文  | 時間30分 字数400字程度 |

### 4 その他、特記事項

なし

### 5 選抜の手順等

#### 【資料の取扱い】

1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。

2 調査書は、「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計する。（135点満点）

また、調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するものを評価する。

3 面接及び作文は、段階評価を行う。

#### 【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

#### 第1次審議

【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の80%以内にある者（ただし、定員に満たない場合は受検者の80%以内にある者）で、面接・作文の評価から、特に資格要件に該当する事項が顕著であると認められた者を合格内定とする。

#### 第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。